

編集後記

『事業承継』第12号をお届けするにあたり、ご投稿いただいた方々に感謝いたします。本誌は会員諸氏の1年間の優れた研究成果を掲載する目的で刊行しており、号を重ねるごとに充実しています。

今号は若手研究者の論文が3編掲載され、いずれも事業承継に関する理論的かつ実践的な考察が行われました。林論文は事業承継の今後の在り方として親族外承継の支援の必要性、とりわけ経営者保証についての考察が行われました。そしてファミリービジネスとイノベーションとの関係の整理を試みた濱口論文では、3種の分析フレームを通じた事業承継に対する考察が行われました。さらに、黒澤論文では中小企業の女性後継者の事業承継において、その準備期間が経営行動に与える影響が明らかにされました。

昨今、国内でも経営大学院（ビジネススクール）が注目される場面が増え、事業承継を意識した次世代の創業家が各自の問題認識とともに参加しています。業種も老舗酒造から病院まで多岐にわたる一方で、「自分は後継者として新規事業と既存事業どちらで成果を出すべきか？」といった共通した問いを抱えている傾向にあり、こうした社会的ニーズに向き合う研究活動の必要性を肌で感じています。

当然ながら事業承継に関わる多面的かつ定量的な考察には、調査対象となる当該企業との長期間に亘る信頼関係が不可欠であり、若手研究者にとって乗り越えるべき課題が多いのも事実であります。本会員の若手研究者の活動を支援するためにも、さらなる学会全体としてのネットワークの高度化および国際化を期待しています。

栗本 博行（名商大ビジネススクール教授）

『事業承継 Vol.12』編集委員

栗本 博行（委員長）
林 廣茂
落合 康裕
太宰 北斗